記者発表資料

平成２８年２月１０日
湯沢河川国道事務所

国道１３号院内道路（平成２８年度完成予定）

市民参加により橋とトンネルの名前が決定しました

～選定された方に選定委員会より感謝状を贈呈します～

院内道路は、湯沢市上院内～下院内地内に建設中の、延長３ｋｍの自動車専用道路であり、完成後は東北中央自動車道の一部となります。

この度、路線の主要構造物がほぼ完成した事から、路線内の橋梁３橋とトンネル２本の名前を一般募集（※１）した結果、９１２件の応募がありました。その後名称選定委員会により、厳正な審査を行った結果、以下のとおり名称が決定しましたのでお知らせします。また、選定された方への感謝状贈呈式を下記により行います。

決定した名称

〇橋梁

・新雄勝川橋（しんおがちがわばし）

・院内小沢橋（いんないこさ（ざ）わばし）

・湯ノ沢温泉大橋（ゆのさわおんせんおおはし）

〇トンネル

・院内岩井堂トンネル（いんないいわいどうとんねる）

・獅鼻トンネル（ししばなトンネル）

（※１）７月１５日記者発表し、９月１０日の締切りまで約２ケ月間募集しました。
応募は、郵送・ファックス・HP への送付、市役所や道の駅に設置した投入箱への投入などにより広く募集しました。

感謝状贈呈式

１．日　　時　：　平成２８年２月１７日（水）１６時２０分～

２．場　　所　：　湯沢市役所本庁舎　４階　４３会議室

＜発表記者先：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢・大曲支局
建設新聞社秋田支局、秋田建設工業新聞社、秋田県南日々新聞＞

問　い　合　わ　せ　先

■事業に関すること
国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
電話番号：０１８３－７３－３１７４（代表）
副所長（道路担当）　松井　幸男　（内線２０５）
工務第二課長　松井　和彦　（内線４１１）

参考：決定した橋梁・トンネル名称　位置図

航空写真　①



航空写真　②



航空写真　③

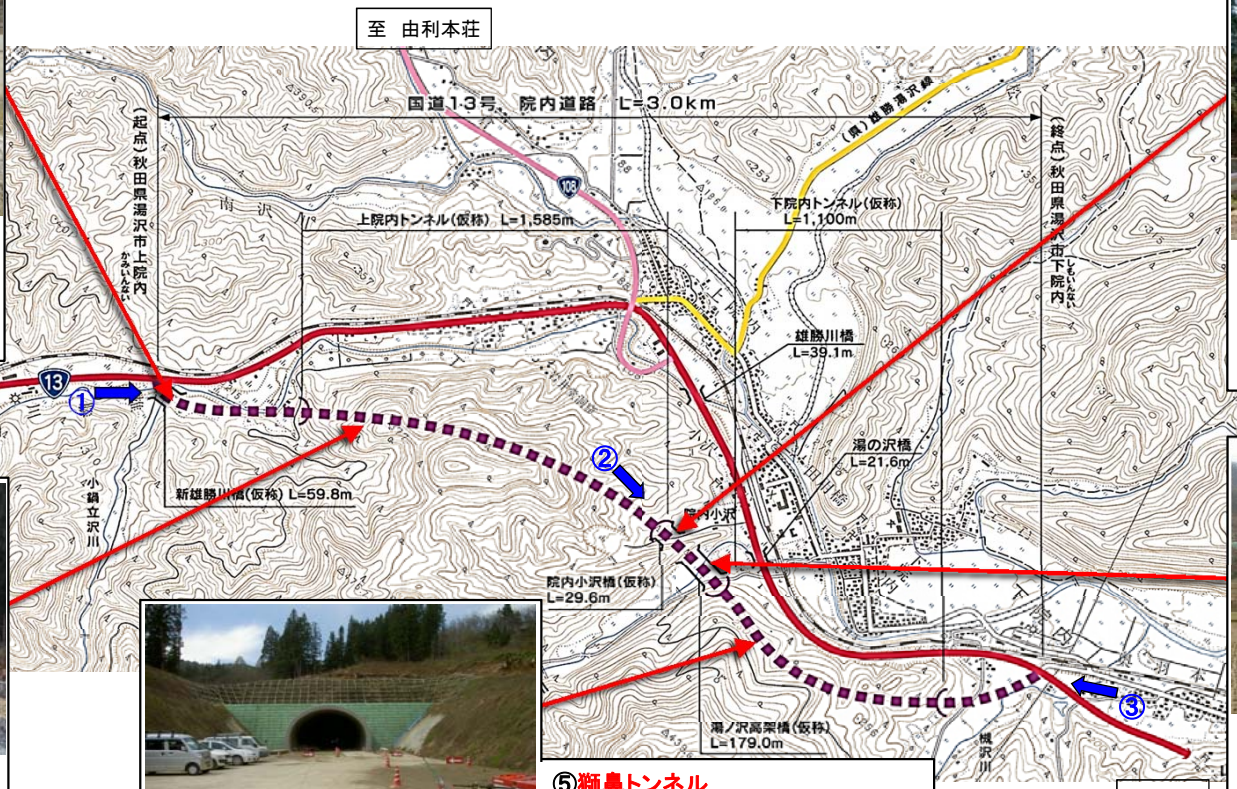




①新雄勝川橋
（延長 59.8m）
雄勝川と小鍋立沢川をまたいでいます



④院内岩井堂トンネル
（延長 1585m）
近くには岩井堂洞窟があります



⑤獅鼻トンネル
（延長 1100m）
真那板平地区を通過しています



②院内小沢橋
（延長 29.6m）
市道石山線と院内小沢にかかる橋です



③湯ノ沢温泉大橋
（延長 179m）
院内道路で一番長く、湯ノ沢川をまたいでいます

国道１３号　院内道路の整備効果

効果①　信頼性の高いネットワークを確保

◆大雨などの災害により国道13号が通行止めとなり、大幅な広域迂回が発生
◆院内道路により緊急輸送道路として信頼性の高いネットワークを確保

▼ 新庄～湯沢間の災害時の迂回状況



※迂回路は一次緊急輸送道路で設定　　資料：H22道路交通センサス

▼ 県境付近の災害通行止め履歴

路線	発生年月日	災害	規制時間	場所	備考
13	H16/7/17	大雨	20.6時間	金山町	
	H16/7/17	大雨	2.1時間	真室川町	写真参照
	H22/7/17	大雨	1.5時間	湯沢市	並行現道
	H22/9/13	大雨	14.0時間	金山町	
	H24/4/4	強風	1.9時間	湯沢市	
	H24/4/4	大雪	3.9時間	湯沢市	
	H24/12/11	大雪	2.7時間	真室川町	
	H27/2/22	雪崩	63.7時間	湯沢市	

資料：東北地方整備局

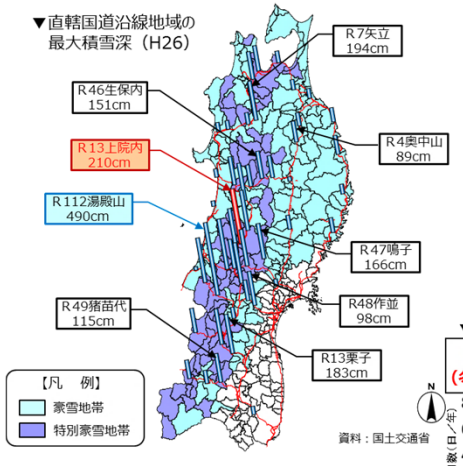
▼写真　大雨による通行止め状況
(H16/7/17)



効果②　冬期交通の円滑な確保

◆特別豪雪地帯のため、冬期は除雪作業により1日おき程度の交通規制が発生
◆院内道路により冬期交通障害箇所を回避

▼直轄国道沿線地域の
最大積雪深（H26）

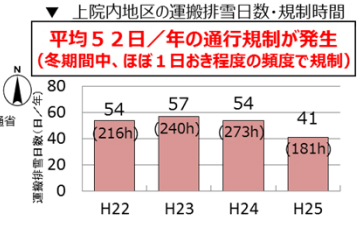


資料：国土交通省

▼ 国道１３号上院内地区における運搬排雪区間



▼ 上院内地区の運搬排雪日数・規制時間



▼ 写真　運搬排雪状況

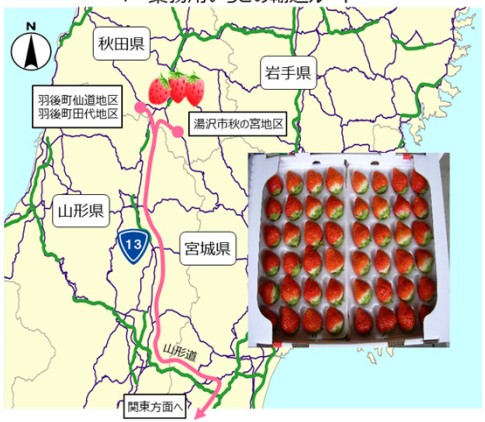


・平均、冬期間の２日に１回は運搬排雪作業が発生
・１回の作業時間は、片側交互通行で約４時間を要する

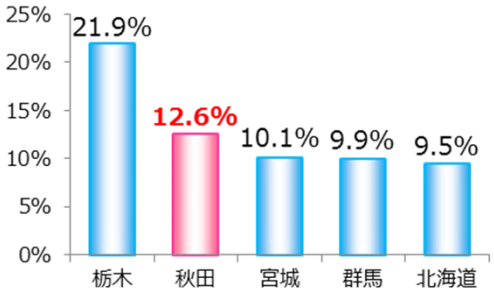
効果③　物流ルート確保による地域産業支援

◆秋田県湯沢雄勝地域は、夏期のいちご取扱量が全国第二位
◆院内道路により安定的な物流ルート確保により、地域産業支援

▼ 業務用いちごの輸送ルート

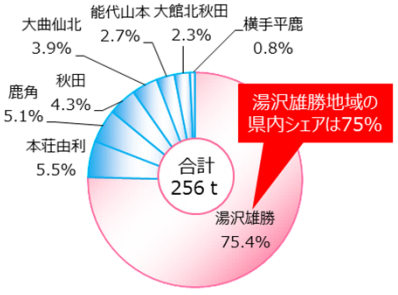


▼ 東京卸売市場における夏期(6～10月)の
いちごの都道府県別取扱量



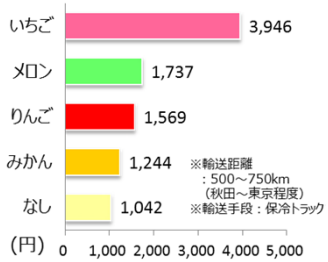
資料：東京卸売市場ＨＰ（H24～H26）

▼ 秋田県におけるいちご出荷量のシェア



資料：作物統計調査（H18）

▼ 100kgあたりの運送料



<いちご栽培について>
冷涼な気候条件を生かし、湯沢市秋の宮地区、羽後町仙道・田代地区を中心に県内唯一の業務用いちご産地として知られている。
輸入が増える夏期において国産の夏秋どりいちごの需要は高く、洋菓子製造者からは低価格、高品質、安定供給が求められる。

資料：雄勝地域振興局資料、
独立行政法人東北農業研究センター資料